



数字による評価の裏に潜む安心

初めまして、三谷泰雅と申します。現在、大阪公立大学で情報工学とその基礎となる数学などを学んでいます。高校三年生の時にカイチ予備校に通っており、勉強面だけでなく精神的な面でも手厚いサポートをしていただき、無事に第一志望の大学に合格することができました。そして、今年度からお世話になったカイチ予備校とENIGMAで非常勤講師として働かせていただいております。

今回このように記事を書く機会をいただきました。この記事では、寒さが増す大学入試を感じる季節に、受験に対する私の考えを共有したいと思います。

受験生が直面する試験の結果はほとんどが数字で返ってきます。特に共通テストなどは部分点がなく、正解か不正解かの二分法になり、それが点数という数字になります。自分の今までの勉強の成果や試験中の考察がたった1つの数字になり、他人と数直線上で比べられることがとても残酷で非情だと感じる方もいるかもしれません。私も受験生だった頃はそう思っていました。

しかし、この残酷で非情に見える評価基準が、私たちが安心して試験を受けられることの一因であると考えます。もし試験の結果が人の感情が入り得る評価基準に基づく場合、それが善意であっても悪意であっても、物事の間には組み合わせとしての善悪が存在する以上、ある受験生にとっては有利に、もう一方の受験生に

三谷 泰雅 (カイチ予備校・ENIGMA)

とっては不利に働いてしまうでしょう。

その一方で、点数という人の感情が入りづらい、数字による評価基準は非情ではありますが、誰にとってもある程度共通の認識があるという点で公正であり、私たちは何の悪意への疑いもなしにその評価を認めることができます。私たちが星を安心して眺めることができるのは、星に誰の感情も含まれていないからなのです。

ですから、これから受験を控えている方々は、評価基準に安心して身を任せつつ、自分の力を最大限に引き出すことを主に考えて学習し、試験に備えていただければと思います。

最後に、私の能力や経験の範囲であれば、勉強の質問や進路の相談など、お役に立てるよう頑張りますので、何でも聞いてもらえればと思います。



ルイージのちょっとイイ話

TEACHER'S VOICE ルイージ(かいち学童)

学童のクリスマス!

クリスマスの気分になり、どこに行ってもクリスマスの雰囲気や困まれた日本は素敵です。「てんしば」という天王寺にある公園のところで、クリスマスマーケットがありました。そこではホットチョコレート、パンケーキ、クリスマス関連の品物が販売されていました。寒い中、いるんな人がクリスマスの景色を見ながらおしゃべりしたり、食べたり楽しんだりしていました。周りながら、角のところにあまり見かけないブースがあり、何だろうと思って見に行きました。キリスト誕生のシーンがありました。なぜイエス・キリストの誕生をお祝いしているのでしょうか？この時期には、よくメリークリスマスという挨拶をしますが、一体どういう意味でしょう？

メリーとは「Happy」という意味を表します。クリスマスは キリスト+マスを合接した言葉です。キリストはイエス様の意味であり、マスは祭りという意味です。メリークリスマスはキリストの誕生のお祝い祭りで、

このように、イエス・キリストが生まれた理由

は、私たち人間を罪から救うためにこの世に生まれ、永遠に幸せにするために来られました。イエス様は私たちの代わりに私たちの罪を背負って、血潮を流して、十字架で死なれ、永遠の贖いを成し遂げられました。私たちを永遠に義人にするため、永久に聖なるものにするため、イエス様がご自分を捧げました。ですから、この事実を知り、世界中でクリスマスをお祝いしているのです。

かいち学童のクリスマスもクリスマス当日に行われましたが、スパゲティを作ってクッキングレッスンがありました。ケーキを飾っておいしいジュースもありました。クリスマスゲームをして、子供たちが盛り上がっていました。もちろん、豪華な景品もたくさん当たってみんな嬉しそうでした。

今年初めて、学童でプレゼント交換をしました。プレゼントは200円ぐらいの文房具かおもちゃやお菓子を用意していただきました。プレゼント交換をした理由はたくさんあります。①思いやりと誰にあたるのかわからない不安と楽しみ

があります。きっと、もらう人のことを考えて、これで喜んでくれるかな?という気持ちが生まれたかもしれません。もしかすると悩んだのは保護者の方だったかも?

しかし、クリスマスはプレゼントをもらったりあげたりと楽しむだけの時間ではなく、クリスマスの本当の意味である感謝の気持ちについてもお伝えしたいと思います。皆さんが、こうやって楽しいクリスマスがあるのは、みなさんのパパやママが頑張ってくれているおかげです。クリスマスだけではありません。普段、皆さんが普通だと思っている生活が送れるのも、パパ、ママだけでなく、兄弟や友達や学校の先生達、そうそう学童の先生達、いやいやスーパーのレジを売ってくれている人、周りのたくさんの人達のおかげです。

感謝の気持ちを伝えるのは、少し恥ずかしいかもしれませんが、クリスマスとは元来、私達の身代わりになってくれたイエス様を思い、周りの人への感謝に思いを馳せる大切な機会です。時には、楽しい時間を過ごしながらか、お互いに愛し合い言葉と行動で感謝の気持ちを伝えていくことは大事だと思えます。

学童のクリスマスは盛りだくさんで、準備は大変でしたが、子供たちの笑顔を見て癒される気持ちになりました。

発行/株式会社 開智総合学院 〒536-0004 大阪市城東区今福西2-1-8モデラートWASHIMI201 TEL.06-6939-0008

生徒と保護者と先生の共有ニュースレター

Growing

January 2024 Vol. 136 毎月10日発行

【本 部】 城東区今福西2-1-8モデラートWASHIMI 201 TEL.06-6939-0008	【今福教室】 城東区今福西 2-9-20 TEL.06-6934-4662 【諸口教室】 鶴見区諸口 4-14-9-1F TEL.06-6912-3984 【今津教室】 鶴見区今津南 1-6-2-1F TEL.06-6167-9722 城東区成育 5-22-10-2F TEL.06-6786-1008 【エニグマ】 中央区谷町 9-4-5-3F TEL.06-6777-1563	【今福第2教室】 城東区今福西 2-16-8 TEL.06-6931-2000 【関目教室】 城東区関目 4-6-17-2F・3F TEL.06-6934-8117 【古市教室】 城東区古市 3-21-8 TEL.06-6931-0467 【カイチ予備校】 城東区今福西 1-10-17 TEL.06-6935-2220 【万緑会】 天王寺区上本町 6-9-10-3F TEL.06-6772-5011
--	---	---

明けましておめでとうございます。 入試直前「赤本」の活用法と注意点

あけましておめでとうございます。皆さんは、今年初詣には行きましたか?そこでお願いしたことは何でしょう。ある人に聞いた話では、何事に対しても1000時間を費やせばその分野でプロといえるような知識や技術が身に付くそうです。1000時間と言われると長く感じますが、朝に30分、夜に30分、1日1時間を3年間続ければ達成できます。1日1時間なら、なんだかやれそうな気がしませんか?そういう私も、何度もダイエットを決意して挫折してばかりですが、朝と夜の30分なら何かを続けられるかもしれません。年初の目標を忘れず、努力を続けたいものです。

中学3年生は、いよいよ年が明け緊張感が高まってきたのではないのでしょうか。学年末対策が終われば、いよいよ私立入試までは2週間。ここからは各教室でも私立過去問題の「赤本」演習が中心となります。

今回のGROWINGではそんな受験生に向けて、私立「赤本」の活用法と注意点について、2つのポイントに分けてお話ししたいと思います。

1 テストを受ける際の「段取り」を練習する

多くの人は受験で問われるのが「学力」のみだと考えています。でも実際は違います。受験で問われるのは「学力」と「段取り」です。不合格になる多くの生徒が、5教科の合格ラインよりも点数が5点~20点少ない程度です。これを1教科に直すと1点~5点。正答数ならば各教科僅か1、2問。この程度の点数差は「段取り」を決めケアレスミス減らすことで十分埋められます。

最初の段取りは時間配分を決めることです。入試問題は制限時間を一杯使うか、足りない程度で作成されているのが普通です。まず、問題が配られたらざっと最後まですべて目を通す。そして、見直し時間を5分程度取り(大事ですよ)、それ以外の時間でザックリ時間配分を考えます。大問が6題で制限時間が50分なら、見直し時間5分を引いて45分。45分÷6で1問7分程度という目安と見直しを立てます。私立赤本を数年解けばわかることですが、例年各学校で大問数や問題傾向はほぼ変わりません。赤本の練習時に時間配分を決めて演習するようにしてください。

2つめの段取りは、問題演習の際には大切なところに線を引くことです。単に読むのと書き込んで読むのでは理解が全く違います。当然、ケアレスミス対策にもなります。

そして、段取りの3つめ。ここが大切なのですが、難しく時間がかかる問題は印をつけて飛ばすことです。(とりあえず解答が書けるものは書いてください。)問題は最後までとりあえず解くことが大切です。前半で難問に捕まり、後半の簡単な問題ができなかったという最悪の事態は避けなければなりません。

段取りの4つめ。一通り問題を解いたなら、見直し用にとっておいた時間で、印を打った難問で特に解けそうな問題に絞って時間を使います。また、採点の際には、これは正解できたな(ケアレスミスだったな)という問題には色を変えて印を打ち、その合計点も書くようにします。この失点数を毎回カウントして意識することで、ミスの少ない答案を作る力が身に付いていきます。



▲講習中の中3生。「ハイチース」ハードだけどみんな元気です!

2 間違い直しをきちんとし、実力をさらに伸ばす

入試問題は各学校の教科担当の先生達が、僅か50分のテスト時間で、中学3年間の学習の定着度とその応用力を効率的に測るために考えて作った問題です。このことを逆に考えれば、入試問題の内容を完璧に理解し復習すれば、3年間の総復習をとっても効率的に行えるという意味です。当然、赤本には合格ラインが書かれていますので、自分で年度ごとに得点一覧表を作成し、合否判定をする必要がありますが、大切なことは間違い直しをすることで実力をさらに伸ばすことです。

ここで、間違い直しには2種類あることをきちんと理解しておいてください。1つは解き方の理屈が分からない間違いの場合。この際は、まず赤本の解説を丁寧に読むこと。解説を読んでどうしても分からない場合は、その時、初めて質問するようにしてください。同じ質問をするのでも、事前に考えたのと考えないのでは、解説した時の理解が全く違います。まずは、自分でギリギリまで考えるようにしてください。

2つ目は、暗記不足の間違いの場合。この場合は、答えを見て書き直して、安易に青マルをして終わるのではなく、参考書(WINPASSや教科書でもよい)で調べて、その周辺知識も併せて復習するようにしてください。このような暗記が曖昧な知識ばかりをノートにまとめるのも効果的です。そうすれば、入試直前に、このノートを開けば暗記が不十分な箇所の短時間でございできてしまいます。

ここからは、私立・公立と赤本を中心とした学習になってきます。正しい方法で学習するように意識しましょう。

最後に、秋口より担当させていただいている中学3年生の冬期講習の様子を書かせていただこうと思います。

カイチの冬期講習は、毎日5時間以上。みっちり各私立の入試問題演習と解説を行い、その間違い直しは翌日までの宿題です。4教科の間違い直し、しかも入試問題ですから、睡眠時間を削っている生徒もいたと思います。それでも、多くの生徒が18時過ぎの授業が終わっても帰らないで、先生を捕まえて質問をする。そして、19時前に帰ったかと思うと19時45分には殆どの生徒が来て自習に取り組んでいました。私は、時間が許す限り自習監督に入りましたが、もう質問が途絶えない。気が付くと22時20分の最終居残りを超え23時。そこから、「明日の1番で答えてください」とコピーを渡してやる。かといって、みんなグスグスすることもなく、冗談を言うも盛り上がる。

質問攻めにされて時間を忘れる。教える仕事をしている人間として、こんなうれしいことはありません。また、みんなで頑張っている手応えも素敵でした。

各教室の先生達の話の間には、カイチのどの教室も、先生達が質問に追われ、社員も非常勤も時には、生徒同士で教え合いながら冬期講習を乗り越えたそうです。みんなのエネルギーはずごい。

改めて、この仕事の楽しさを教えてもらった気がしました。最後の公立入試が終わるまで、あと2カ月。桜の花が咲く季節には、みんなで笑えるように、最後の最後まで頑張ろう。



高木 秀章(塾長)



▲間違い箇所をノートにまとめるのも効果的!

Focus



CLASSROOM REPORT 教室レポート

4年ぶりのクリスマス会!!

辻田 衣里 (今津教室)

新年あけましておめでとうございます。今津教室の辻田です。早速ですが、昨年12月に行われたクリスマス会の様子をお伝えしたいと思います。昨年まではコロナ禍の影響で中止の状態が続き、今年はなんと4年ぶりのクリスマス会ということでした。私自身カイチのクリスマス会を経験したことがなく、開催される話を聞いた時は、どんな雰囲気なのか全く想像が付きませんでした。準備の段階でまず驚いたのは、教室に届けられた大量の駄菓子とビンゴ大会の景品でした。その数量から、相当な規模で行われることが理解できました。

そして当日を迎え、朝から机を並び替えてレイアウトを作っている中、小学部と中学部のお手伝いの生徒たちが来てくれました。みんな一所懸命、飾り付けをしてきていました。

いよいよスタートの11時前になると、続々と子供たちが来始めて、いつもの大教室はたちまちいっぱいになりました。そして先生からの、無事クリスマス会を楽しむための諸注意のアナウンスが終わると、みんな一斉にお店に並び始め



▲お店は大混雑でしたが、お手伝いの生徒たちの動きが早い…!!



▲みんなで食べるラーメン、やっぱり美味しいですね!!

ました。お店は、綿菓子屋にフランクフルト屋、ミルクせんべい・たこせん屋、ゲーム屋、そしてジュース・駄菓子屋からラーメン屋までありました。そしてお代は、お金ではなく、普段の授業で頑張ったら貰える点数券であるのも、凄く面白い仕組みだなと感じました。点数券とにらめっこをして駄菓子を選んでいる子、大きなたこせんべいを口いっぱい頬張りながら話しかけてくれる子、フランクフルトと綿菓子を両手に楽しそうに友達と喋っている子、ラーメンを何杯もおかわりする子。また、弟や妹と一緒に回ってあげて、親御さんがいなくてもちゃんと下の子の面倒を見てあげてる子。普段の授業では見られない、子供たちの新たな一面が見られたような気がしました。そんな中あつという間に時間がたち12時からは、最後の一大イベントであるビンゴ大会が始まりました。今津教室では、なんとマジシャンの豊野先生によるマジックショーもあり、その巧みな技を目の前に子供たちも大盛り上がりとなりました。あれだけ沢山あった景品も一瞬で無くなり、最後は子供たちの満足そうな顔で帰っていく姿がとても

印象的でした。お手伝いに来てくれた生徒たちも、何も言わなくても自主的によく動いてくれ、将来が楽しみだと感じました。クリスマス会は初めての経験でしたが、何よりも私自身とても楽しかったです。みんなで模擬店をしたりなど、少し童心に返ったような経験ができました。大人でもこんなに楽しかったら、子供たちはもっと楽しんでくれたのではと思っています。今年参加できなかった子供たちも、来年こそ是非参加して欲しいです。また中学部の子たちも、お手伝いという形で参加できるので是非お願いします。(何か報酬がもらえるかも?)満足そうに帰っていく子供達の顔を思い出すと、本当に出来て良かったという気持ちです。普段からカイチに来て頑張っている子供たちの、良い息抜きになってもらえたらありがたいです。通常の授業でも、勉強はしんどいけど、カイチにくるとやっぱり楽しい。そう思ってもらえるような授業や教室作りができるように、まだまだ未熟ですが、これからも頑張っていきたいと思っています。ありがとうございました。



▲豊野先生による圧巻のマジックショー☆
今年来れなかった子も、来年こそ参加したら見られるかも…!?

Education



KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

今日を「吉日」に

山本 真義 (高殿教室)



先日、梅田に出かけた際、年末ジャンボ宝くじを買うための長い行列が出来ているのを見かけました。冬の風物詩ですね。いよいよ、受験シーズン到来です。

中学3年生の皆さんは、最後の追い込みで、一生懸命勉強していることと思います。初めての受験で、少なからず、不安を感じているでしょう。十数年前、私自身が受験生だった時も、皆さんと同じ気持ちでした。でも、受験が近づくにつれて、「自分なら出来る」「やってやるぞ」という気持ちにもなりました。自分がどれだけ勉強してきたかを知っていたからです。もちろん不安も膨らむのですが、それ以上に、自分の勉強の仕上がりを実感し、自信や期待が高まって、不安をかき消してくれました。程よい緊張感が続き、良いコンディションで受験当日を迎えられたことを、今でもよく憶えています。

「でも自分は全然勉強が足りていない…」
「受験までもう時間がない…」そう思った人。本当に、そうでしょうか?

そんなことはありません!大阪府の私立入試初日は2月10日、公立入試は3月11日。結果を変えるのに十分な期間が、まだ残っています。今日から。今日から。全力で突っ走りましょう。

一つ、受験生の皆さんに気を付けてもらいた

いのは、「全力」と「無茶」の線引きについてです。焦って勉強時間を捻出しようとして、寝不足になったり、適度な休息を取らなったりするのは、逆効果です。一生懸命勉強して、その分、睡眠時間や休憩時間もきっちりと確保する。頑張った後の、美味しいご飯や気持ちよいお風呂の時間も楽しんで、勉強と健康を両立してください。そして精一杯の努力を続けた先には、間違いなく、最大限に力を伸ばした自分がいて、最良の結果を掴み取ってくれます。

さて、これから受験までの期間を全力で過ごすためには、学習計画が不可欠です。まずは、現在の自分の成績を確認して、本番までにどれだけ得点力をアップさせれば良いかを把握しましょう。そして、そのためにはどれだけの勉強量・勉強時間が必要か。そこから、月ごとの計画→週ごとの計画→毎日の計画と、順番に、内容を細かく決めていきます。注意点として、「やり直し」や「復習」の時間を計画に組み込むのを、忘れないようにしましょう。できれば少し余裕のある計画が立てられれば、言うことなしです。

計画が立てられたら、日々、実行していきます。きちんと進められた日は、自分を大いに褒めて、良い気分で眠りましょう。もしも計画通りに



▲自習に励む中学3年生。努力した分、きちんと実力が着いていきますよ!



▲質問する子はより伸びる!先生たちも全力で対応しています!

進められなかった日があれば、その原因と、積み残してしまった内容を把握します。そして、失敗を繰り返さないで、積み残しも挽回できるように、計画の修正を行います。それが出来たら、明日に備えてしっかり休みましょう。

読んでいて、気付いた人も多いと思います。この「学習計画を立てて実行する」という作業は、今までに皆さんが定期試験の度に行ってきた「テスト対策」と、同じものです。皆さんは、受験までの過ごし方の練習を、すでに何度もしてきているのです。あとは、今日から、今日から、同じことを全力で行うのみです。

「思い立ったが吉日」ということわざがあります。「物事を始めようと思ったら、すぐに実行に移すのがよい」という意味の言葉です。昨日までの過ごし方は変えられませんが、今日からの過ごし方は、自分次第で変えられます。受験は、宝くじのような、運だけで結果が決まるものではありません。全力を尽くせば、必ず、より良い結果を掴むことが出来ます。

最後にもう一つ。受験は皆さん自身のためのものであり、試験時間中は、自分ひとりの力で戦うことになります。でも、それ以外の時間は、孤独ではありません。食事や睡眠などの生活環境を支えてくれる家族。お互い励まし合える友達。そして、私たち先生もいます。どの先生も、今まで皆さんに、全力の姿をお見せしてきたでしょう。入試本番まで、ちゃんと付き合います。さあ、ここから。ここから。「頑張るぞ」と、自分に一言、エールを送って、今から頑張ってください!